

平成30年度旭川市立六合中学校通信

12月号

# 久遠の塔

発行：旭川市立六合中学校  
住所：旭川市末広3条2丁目  
電話：0166-51-5388  
HP：http://www.asahikwa-hkd.ed.jp/rokugo-jhs  
発行日：12月21日（金）

## 「すぐやる！必ずやる！できるだけやる！」～2学期終業式の講話より～

校長 工藤 亘

今日で2学期が終了します。2学期は実に様々なことがありました。その中でも印象的だったのは「六合祭」。それぞれの学年が、課題を克服するための話し合いを重ね、よりよく問題を解決し、集団を高めようとする姿勢が見られました。特に合唱コンクールに向けての取組は、学級の団結力をより一層高めるものになりました。そして、10月31日に実施された「いじめ根絶集会」。一人一人が「いじめをなくすためにどうしたら良いのか」を考える貴重な時間となりました。特に、生活常任委員長の高野さんの言葉が印象的でした。『いじめをなくしていくためには、「相手の気持ちを考え、積極的にコミュニケーションをとる」ことが大事だと言えます。今年度、後期生活常任委員会では、「礼儀正しい六合中に～全員が笑顔で明るくあいさつできるようにしよう～」を目標に掲げています。親しい人同士も、そうでない人同士でも、学級や学年が同じでも、違っていても、六合中学校の生徒として、明るく元気なあいさつができる学校になれば、きっといじめのない、よい学校になれると考えています。』

1年生は、8月24日の「匠に学ぶ、旭川を知る」を実施し、農業体験や陶芸製作体験を通して、仕事についての理解を深め、自己の生き方や考え方を深めるきっかけとなりました。2年生は、10月4日の「職場体験学習」に取り組み、各自が事業所を訪れ、実際に仕事を体験したり、事業所の方から体験談や説明などを聞いたりすることで、その仕事の内容や職業人としてのあり方を学ぶ機会となりました。体験記録のまとめは、中堅学年としてのより一層の活躍を予感させるものであり、今後の成長がとても楽しみです。3年生は、受験生としての自覚が芽生え、授業の姿勢にもやる気を感じられます。11月の三者面談で、進むべき方向が決定しました。あとは夢実現に向けてやるだけです。

私は2学期の始業式で3つのことについて話をしました。1つ目は、挨拶や返事などの生活習慣の見直し、2つ目は、六合祭などの行事を通して、やり遂げた達成感・成就感を感じてほしいということ、3つ目は、頭を鍛えること、具体的には日常の授業を大切にする姿勢でした。自己評価をしてみて、満足できないところは、そのままにせず、すぐに改善することです。「すぐやる！必ずやる！できるだけやる！」（日本電産株式会社の創業者である永守氏の企業理念の1つ）私が大切にしている言葉の1つで、皆さんにも心がけてほしいと思い紹介しました。

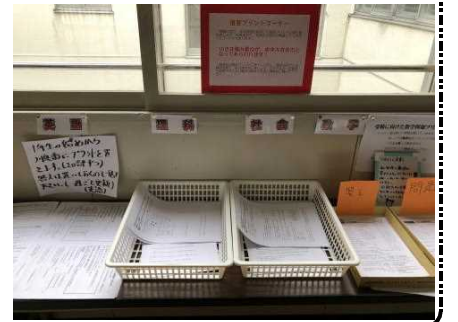
明日から冬休みに入ります。夏休みと同様に、確かな計画力と行動力で過ごしてください。どう過ごすかによって結果は大きく異なってきます。充実した生活をするための基盤は健康です。特に、インフルエンザが流行る時期でもあります。「早寝、早起き、朝ごはん」を心がけるとともに、交通事故等に十分に気を付け、来年の1月16日には、皆さんの元気な姿に会えることを楽しみにしています。

## 教務部より

今月学校では、1・2年生を対象とした数学の計算力確認（これまでの学習の復習）を目的とした小テストと学習サポートを実施しました。特に未定着生徒の改善を図れるように、放課後に解き直しや指導を受けました。今後も数学を中心に、学力向上に取り組んでいきます。

3年生の受験対策として、国語・数学・社会・理科・英語の学習プリントを廊下に置いています。生徒たちは、休み時間等を利用し、問題を解くことで、数多くの問題に触れ、高校入試に向けて頑張っています。

本日、2学期の通知表を配付しました。教科書を使った復習、問題集を活用した取組など、計画的に学習を進め、有意義な冬休みにしてください。



## 生徒指導部より

明日から冬休みにはいります。2学期は、六合祭や職場体験学習、匠に学ぶなどの大きな学校行事はありましたが、生徒たちは落ち着いて生活を送っていました。行事を通して、仲間との関わり方を学んだり、友人の新たな一面を発見したりなど、社会性の伸張を図れたのではないのでしょうか。また後半は、進路についても考えました。1・2年生は自分の将来について見つめたり、高校進学についても考えました。3年生はより具体的な進路決定を通して、自分自身を見つめる機会となりました。

これから本格的な冬を迎え、寒さの厳しい時期となりますが、健康管理に気をつけ、「冬休みの心得」を踏まえ、充実した冬休みを過ごしてください。

## 子ども相談支援センター相談窓口のお知らせ

いじめや不登校、体罰などの学校教育に関する悩みや子育てしつけなど、家庭教育に関する悩みなど相談してください。

●電話相談

0120-3882-56  
(無料 毎日24時間対応)

●メール相談

doken-sodan@hokkaido-ced.jp

※急ぎの場合は電話相談を利用してください。

●来所相談 ※10:00～16:00

(土日・祝日、年末年始はお休みです。)

子ども相談支援センター

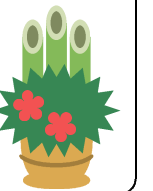
札幌市中央区北3条西7丁目道庁別館8階

※上記の電話相談で予約ください。



## 1月の行事予定

- 16日（水）始業式、表彰伝達式、職員会議
- 17日（木）学年末テスト（3年）
- 21日（月）常任委員会
- 23日（水）宿泊研修（2年）
- 24日（木）宿泊研修（2年）
- 25日（金）宿泊研修回復休（2年）  
英語検定、私立高校推薦入試  
社会を明るくする運動表彰式
- 28日（月）研修日
- 30日（水）ALT（3年）
- 31日（木）部活動中止
- 【2月】  
1日（金）学力テスト（1・2年）  
職員会議



## お世話になりました

女子用務員の髙橋薫さんが、任期満了により、12月25日付けで退職することになりました。六合中学校に約8年間勤務していただきました。

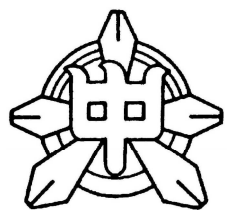
本校在任中は、生徒や保護者の皆様、そして地域の皆様にご協力とご厚情をいただき、心から感謝申し上げます。



## 新ジャージ決定!!

六合中の新ジャージが決定しました。生徒と保護者アンケートの結果が1番多かった紺地に右袖がロイヤルブルー色の物です。平成31年度入学生から着用になります。在校生も着用可です。





【学校教育目標】  
**輝かしい未来を築く 創造性豊かな生徒の育成を目指して**  
**高い知性 豊かな心 強い意志 たくましい体力**  
【行動の合言葉】  
**元気にあいさつ 進んで活動 みんなと協力**  
【年度の重点目標】(重点目標具現化のための取組 “3つのビジョン, 10のミッション, 20のアクション”)  
**『自ら感じ、考え、主体的に行動する生徒の育成』**



|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                            |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 主体的な学びを通して、確かな学力を育む<br>(1)教育課程 ①地域の特性を生かした特色ある教育課程（社会に開かれた教育課程）<br>(2)学習指導 ②今日的な教育課題に対応する教育課程<br>③主体的な学びを促し、基礎・基本の確実な定着を図る学習指導<br>(3)総合的な ④一人ひとりのよさ・可能性を伸ばす学習指導<br>学習の時間 ⑤自ら課題を見つけ、その解決や探求に主体的に取り組む活動<br>(4)特別支援 ⑥地域の教育資源を有効活用した特色ある活動<br>教育 ⑦一人ひとりの特性を生かし、適切な対応・指導に努める特別支援教育<br>⑧家庭や関係機関との連携を深め、協働体制で取り組む特別支援教育 | 2 生命を尊重し、思いやりの心や自律心を培う。<br>(5)心の教育 ⑨豊かな心を育てる道徳教育<br>(6)特別活動 ⑩心に響く指導、生きた指導、考えさせる指導で進める道徳教育<br>⑪自主性や創造性を育て、共に生きる喜び・よさを学ばせる特別活動<br>(7)生徒指導 ⑫魅力があり、活力があり、個が輝く特別活動<br>⑬自らを律する心を培い、「よりよく生きる力」を育む生徒指導<br>(8)キャリア ⑭共感的理解に努め、組織的に取り組む生徒指導<br>教育 ⑮自らの能力や適性をとらえ、将来の生き方や夢に向かうキャリア教育<br>⑯社会の一員としての望ましい勤労観・職業観を育むキャリア教育 | 3 粘り強く、たくましい心身を育む。<br>(9)健康・安 ⑰自他の生命を尊重し、生活の安心・安全意識を高める安全<br>全教育 教育<br>⑱食育や運動の生活化等を通して健康の保持増進・体力の向<br>(10)食育 上を図る健康教育<br>⑲食に関する学習や食体験を通じて、食事の自己管理能力を<br>養う食育<br>⑳食をめぐる環境を理解し、食に感謝する心を育てる食育 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## 『全国保護司連盟理事長賞』受賞

### 人を想うこと

僕の家は真宗大谷派のお寺です。現在は僕の祖父が住職をしています。亡くなった曾祖父は住職をしながら保護司の仕事をしていました。その話を聞いた時、僕は、保護司って一体何だろうと思いました。家族から説明をもらい、保護司というのは、犯罪を犯してしまった人が、再び社会に戻り、生活をしていくことができるように支援をする仕事だと知りました。犯罪を犯してしまった人が、社会復帰をして、家族だけではなく、色々な人達と関わりながら生活していくことは、とても難しいことだと思います。犯罪の種類にもよるけれど、犯罪を犯す前にも生活状況に何らかの問題があったから、そのような犯罪に走ってしまったのだと思うので、その人が社会復帰後にきちんと生活していくことができるように支援するのは大変なことではないかと思いました。

よくテレビのニュースで「再犯」という言葉を耳にします。犯罪を犯し、一度は後悔もしただろうし、反省もしただろうけれど、やはりまた犯罪を犯してしまう。刑務所でも社会復帰に向けて、様々な更生プログラムがあり、犯罪を犯してしまった人もまた社会で生活していけるように支援しているのだけれど、せっかく社会復帰してもまた同じことを繰り返してしまうという事実を聞いて、そんなに簡単なことではないのだなと感じていました。

今年の夏休みに、一人のおじいさんがうちのお寺にやって来ました。とても暑い日に自転車をこいで訪ねて来たそのおじいさんの手には小さな額に入った写真がありました。僕の祖母が、その大切そうに持っていた写真を受け取ると、そのおじいさんは60年以上も前に僕の曾祖父に大変お世話になったのだと言って、話し始めました。昔、とび職をしていたというこのおじいさんの持っていた写真は僕の曾祖父の遺影でした。その写真を大切そうに差し出しながら、「自分はもう90歳を過ぎて、いつ死ぬかもわからないので、お寺に五十嵐住職の写真をお返ししに来たんだ。」と言いました。おじいさんは90歳すぎとは思えないしっかりした表情で、とても優しい人でした。おじいさんはその日、曾祖父の夢を見たと言っていました。それで、自分が死んだ後にその写真が粗末になっては困ると思い、お寺を訪ねて来てくれたのでした。

おじいさんが帰られた後、そのおじいさんは若い頃に警察に捕まるようなことがあり、その後に僕の曾祖父の保護観察下にあった人だということを家族に教えてもらいました。

僕の曾祖父は、祖父が小学校2年生だった時に38歳で亡くなっています。なので、僕も僕の母も会ったことはありません。保護司をしていたことも、どんな人だったかも、祖父から聞きました。

お寺を訪ねて来てくれたそのおじいさんは、若い頃は、色々なことがあり犯罪を犯してしまったりして、おじいさん本人にとっても大変な時期を過ごしていたのだと思います。曾祖父にお世話になったと話すそのおじいさんは

1年生の五十嵐敬信さんが、「社会を明るくする運動」の作文募集で、全国優秀賞に値する標記の賞を受賞しました。

曾祖父が亡くなった後も曾祖父のことを想いながら、一生懸命に生きてきたのだと、写真を大切にしているおじいさんを見て、僕は思いました。そのおじいさんが、昔どんな風な人だったのかはわかりませんが、悪いことをしてしまうような生き方をしているような人だったに違いないと思います。でも、そのおじいさんは曾祖父と出会ったことにより、きっと何かを感じ、おじいさんの中で何かが変わったのではないのかなと思います。優しくそんなそのおじいさんは、亡くなって60年近くも経つ曾祖父のことを今でも大切に想い、そして、夢にまで出てくるほど曾祖父との思い出があるのだなと思いました。

自分のことを大切に想ってくれる人との出会い、自分が大切に裏切れないと思う人との出会いというのは人を変えることができるのではないかと思います。犯罪を犯してしまった人であっても、人との出会いにより、自分というものを考え直し、人を大切に、自分も大切にすることができるようになることが大切だと思います。そのような出会いにより、社会復帰を可能にし、より良く生きていけることができるのだということを感じることができた出来事でした。

おじいさんの大切に持ってきてくれたその小さな遺影は、今、うちの茶の間の祖父の棚の上に飾られています。

## 『税の標語』入選

旭川中・東間税会で行っている「税の標語」に以下の生徒が入選しました。

12月5日(水)に、旭川中税務署長さんが来校され、校長室で表彰式を行いました。

【旭川中税務署 署長賞】

3年 山田 大成さん「税金を 正しく納めて 豊かな町に」

【北海道間税会連合会 会長賞(優秀賞)】

3年 小野 菜月さん「税金は 人と人との 支えあい」

3年 脇坂 希実さん「納税で 輝け笑顔 託す未来」

3年 中島ゆりかさん「その税金 国を良くする エネルギー」

3年 田村 優羽さん「納税で 未来へ種まき 笑顔咲く」

3年 小山 莉世さん「税金を 知って納めて 暮らしを豊かに」

【旭川中間税会 会長賞】

3年 松本 紗英さん「税金を みんなで納めて 幸せに」



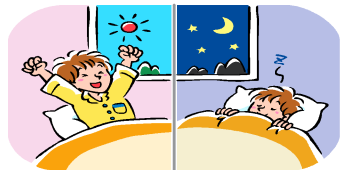
## 英語の出前授業

11月26日(月)に末広小学校、11月30日(金)に春光小学校で、本校の大澤洋子教諭が出向き、小学校6年生に英語の授業を行いました。11月号の学校通信でも技術科の「のこぎりの授業」を紹介しましたが、小中連携の一環として取組第2弾として行いました。



## 保健指導

12月4日(火)に2年生を対象に、旭川保健所職員の方に来校いただき、『未来の自分へ～子どものうちからの生活習慣病の予防～』をテーマに講演を行いました。成長期を迎え、現在の生活習慣の乱れが生活習慣病につながることを、販売している飲み物の糖分についてクイズなどを通して、ご指導いただき、正しい食生活や望ましい生活習慣について学びました。



## 栄養教諭による食育指導

今月、各学級ごとに、春光小学校の堀栄養教諭に来校いただき、給食を食べながら、食べ方の指導や栄養の摂取の必要性などのご指導をいただきました。

